

神のエコノミーのために、神の統治の下で、 クリスチャン生活と召会生活をする

メッセージ 4

キリストの複製となり、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験する

聖書：Ⅰペテロ 2:21-23, 25, マタイ 11:28-30, ピリピ 1:27, 2:2

Ⅰ. わたしたちはキリストにある信者として、わたしたちの原型としてのキリストの複製となることができます——Ⅰペテロ 2:21：

- A. 神の統治の下での主イエスの生活は原型であり、わたしたちが彼の複製となることによって、彼の足跡に従うようにします——21-23 節, エペソ 4:20-21。
- B. Ⅰペテロ第2章21節の「原型」のギリシャ語は、文字を教えるときに使われる原本、すなわち、学生が字を書くことを習うとき、文字をなぞるのに使う書き写し、手本を示しています：
 - 1. 主イエスがわたしたちの前に置いた彼の生活は、彼の足跡をたどり、それに従うことによって写す手本です——マタイ 11:28-30。
 - 2. 神の意図は、わたしたちが自分自身の努力によってキリストを模倣しようとするものではありません。わたしたちが必要とするのは模倣ではなく、複製です——ローマ 8:29, Ⅱコリント 3:18。
- C. わたしたちは、神聖な命の豊富を含む過程によって、キリストの複製、キリストのコピーとなる必要があります。この過程が完成するとき、わたしたちはキリストの複製となります——ヨハネ 3:15, エペソ 3:8。
- D. ゼロックスコピーをすることは、ペテロが言う、キリストはわたしたちの原型であることの意味を説明するのに用いることができます。
- E. わたしたちの原型であるキリストの複製となるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの中に生きる方として、わたしたちの中に形づくられる方として、わたしたちの心の中にご自身のホームを造る方として、経験する必要があります——ガラテヤ 2:20, 4:19, エペソ 3:16-17 前半：
 - 1. 新約は、キリストがわたしたちの内なる存在と深く関係があることを啓示しています——ガラテヤ 1:16, コロサイ 3:10-11。
 - 2. 霊なるキリスト、すなわち命を与える霊としてのキリストは、わたしたちの中に生きています——Ⅰコリント 15:45 後半, ガラテヤ 2:20：
 - a. 神のエコノミーとは、「わたし」がキリストの死の中で十字架につけられ、キリストが彼の復活の中でわたしたちの中に生きることです——ヨハネ 14:19。
 - b. わたしたちは主と一つ霊であり、彼と一つ命を持っています。そして今や彼と一つパースンとなるべきです——Ⅰコリント 6:17, コロサイ

3:4. ピリピ 1:21 前半。

- c. キリストはその霊としてわたしたちの中に住んでいるので、わたしたちは彼に内側で生きていただく必要があります——ヨハネ 14:16-19. ガラテヤ 2:20。

3. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——4:19：

- a. わたしたちが悔い改めて彼を信じたとき、キリストはわたしたちの中へと生まれました。それから、彼はクリスチャン生活において、わたしたちの中に生きています。最終的に、彼はわたしたちの円熟のとき、わたしたちの中に形づけられます——ヨハネ 1:12-13. 3:15. ガラテヤ 2:20. 4:19。
- b. キリストがわたしたちの中に形づくられるとは、すべてを含む霊にわたしたちの内なる存在のあらゆる部分を占有していただき、キリストにわたしたちの中で完全に成長していただくことです——コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。
- c. キリストがわたしたちの中に形づくられることは、わたしたちが有機的にキリストで構成されつつあることを暗示します——コロサイ 3:10-11。
- d. ガラテヤ第4章19節で「形づくられる」ことは、Ⅱコリント第3章18節の「かたち」に符合します。キリストはわたしたちの中に形づけられ、わたしたちは彼のかたちにおいて彼を表現します。

4. わたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づけられつつあるキリストは、わたしたちの心の中にご自身のホームを造りつつあります——エペソ 3:16-17 前半：

5. キリストがわたしたちの中に生き、わたしたちの中に形づけられ、わたしたちの心の中にご自身のホームを造るとき、わたしたちはキリストの複製となり、神の団体の表現となります——ローマ 8:29. 12:4-5. 啓 21:2。

II. わたしたちはキリストの複製となる時、キリストをわたしたちの魂の牧者として経験し、享受することができます——Ⅰペテロ 2:25. マタイ 11:28-30. ピリピ 1:27. 2:2：

A. 霊なるキリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの内側の状態を監督し、わたしたちの内なる存在の状況を顧みます：

1. キリストの有機的な牧養は、おもにわたしたちの魂を顧みることです——詩 23:3。

2. キリストはわたしたちの魂の益を顧みることによって、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによって、わたしたちを牧養します——参照、ヘブル 13:17。

3. このような牧養は、内側の、内在的で、有機的な慰めです。

B. わたしたちの魂はとても複雑です。ですからわたしたちは、霊の中の命を与える霊であるキリストが魂においてわたしたちを牧養し、わたしたちの思い、感情、意志を顧み、わたしたちの問題、必要、傷を顧みてくださることを必要とします——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. 6:17:

1. キリストはわたしたちの霊なる牧者として、わたしたちを霊の内側から顧みます。

2. 彼の牧養はわたしたちの霊から始まり、わたしたちの魂のあらゆる部分に拡大します。

3. キリストはわたしたちの霊から魂のすべての部分に届き、優しい、有機的な、すべてを含む方法でわたしたちを顧みます。

C. キリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂を回復します——詩 23:3 前半:

1. わたしたちの魂が回復されるとは、わたしたちが復興されるという意味です。

2. わたしたちの魂を回復することは、更新することと造り変えることも含んでいます——ローマ 12:2. II コリント 3:18。

D. 主はわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの魂に安息を与えます——マタイ 11:28-30:

1. 主は、律法を守ろうとして努力したり、どんな働きにおいても成功しようと奮闘したりしている者たちを、ご自身に来て、安息するように召しています——28 節。

2. この安息は、律法や宗教の下にある、あるいは働きや責任の下にある労苦と重荷から解放されることを指しているだけでなく、完全な平安と全き満足をも指しています。

3. 主のくびきを負うとは、御父のみところを取ることです——12:50。

4. 主はそのような生活をし、御父のみところによって拘束され、御父のみところを顧慮しました(ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38)。彼は完全に御父のみところで満足し、心の中で安息していました。

5. 主のくびきを負い、彼から学ぶことによってわたしたちが見いだす安息は、内側の安息、すなわち、わたしたちの魂のための安息です——マタイ 11:29-30。

E. 主がわたしたちの魂を牧養し、わたしたちの魂を回復するとき、わたしたちはキリストを経験するだけでなく、またキリストを享受します——ピリピ 2:2. 3:1 前半：

1. キリストを経験することは、おもにわたしたちの霊の中の事柄ですが、キリストを享受することは、わたしたちの魂の中にあります——1:27. 2:2。
2. わたしたちの魂に問題があるなら、わたしたちはキリストを経験しても、キリストを享受していないかもしれません。
3. キリストに関して、わたしたちの味わいはおもにわたしたちの魂にあります。こういうわけで、キリストを享受するために、わたしたちは主にわたしたちの魂のあらゆる部分を、特にわたしたちの思いを牧養していただくことを必要とするのです。